

News Release

2014年5月12日

転職サービス「DODA(デューダ)」グローバル採用の実態調査 2014

TOEIC®スコア保有者、転職成功率が 1.23 倍に

～ 英語力の有無と転職成功率を調査 景気回復で英語が必要な求人割合は減少 ～

株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員:高橋広敏)が運営する転職サービス「DODA(デューダ)」<<http://doda.jp>>は、DODA 転職支援サービスに登録した約 34 万人(2013 年度)のデータと、DODA が保有する約 33 万件(2005 年 1 月～2014 年 3 月)の求人情報をもとに、「英語力と転職成功率の関係」と、「企業が求める英語力」について調査を行いましたのでお知らせいたします。

※ 調査結果の詳細は、「DODA ホンネの転職白書」<<http://doda.jp/guide/saiyo/011.html>>に掲載しております。

【 調査結果概要 】

■TOEIC®スコア保有者の転職成功率は 1.23 倍 金融、メディカル、メーカーで顕著

TOEIC®スコア保有者の転職成功率は、TOEIC®スコアを持たない人よりも 1.23 倍高く、転職において英語力がプラスの評価につながっていることが分かりました。

<図表1>TOEIC®スコア保有者の転職成功率の高さ (TOEIC®スコア無の人の転職成功率と比較)

全体		1.23倍
男女別	男性	1.22倍
	女性	1.26倍
職種別	金融専門職	1.68倍
	メディカル系専門職	1.68倍
	モノづくり系エンジニア	1.65倍
	クリエイティブ	1.48倍
	企画・事務	1.38倍
	建築・土木系エンジニア	1.33倍
	販売・サービス	1.25倍
	営業系	1.09倍
IT系エンジニア	0.86倍	

男女別では、男性の TOEIC®スコア保有者の転職成功率がスコア無の人の 1.22 倍であったのに対し、女性は 1.26 倍。女性は男性よりも英語力が転職に有利に働くようです。これは、貿易、翻訳・通訳など英語が求められる職種に女性が多いことや、ダイバーシティを推進している外資系企業において、語学力が必要とされるポジションで女性の転職が多くなっていることも影響していると考えられます。

職種別では、最も英語力が転職成功率に寄与しているのは金融専門職とメディカル系専門職とともに TOEIC®スコア無の人の 1.68 倍。次いで、モノづくり系エンジニアが 1.65 倍と続きます。金融業界、メディカル業界は外資系企業が多いほか、金融専門職では日常的に海外マーケットを相手にすることなども影響しているようです。モノづくり系エンジニアは、海外での生産、販売の拡大をするメーカーの増加に伴い、英語が求められるようになっていきます。<図表 1>

■国内景気回復で英語力が必要な求人割合は減少

DODA が保有する求人のうち、英語力が必要とされる求人の割合を見ると、初級レベル(簡単な読み書きや会話ができる。TOEIC®テスト ～500 点)は、2005 年から年々割合を増やし、2010 年には 50%を突破。その後、60%弱で高止まりしていましたが、2013 年は 53%、2014 年(3 月末時点)には 48%と減少しています。国内の景気回復の影響で、国内営業などの英語が必須ではない求人が急速に拡大したことや、英語は入社後でも高められるスキルと捉え、職種の専門性やマネジメント力などを重視する企業が増加していることが影響していると考えられます。

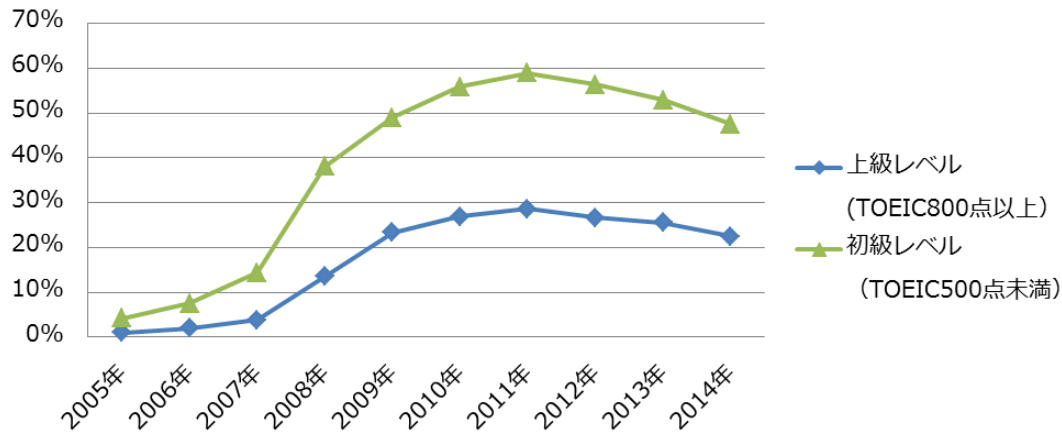
<図表 2>

■TOEIC®スコア保有者はまだ少数 可視化することで差別化を

国内景気の回復などにより、英語力が必要な求人割合は過去に比べて減少していますが、今や、英語はビジネスパーソンにとって当たり前のスキル。一定の英語力は当然と捉え、あえて英語力を必要条件としない求人もあります。今後一層グローバル化が進む中、転職市場で英語力が必要なくなることはまず考えられません。一方、2013 年度に DODA 転職支援サービスに登録したビジネスパーソンのうち、TOEIC®スコア保有者は約 2 割。自分の英語力を可視化できている人は少数であることがわかります。英語力は、実務上で英語を使っていたかどうかとも評価されるので、スコアが全てではありませんが、定期的に数値化しておくことは、転職活動での差別化ポイントになるでしょう。(解説:DODA 編集長 木下学)

本件に関するお問合せ先
<http://www.inte.co.jp/contact/pr/>

<図表2> 英語力を求める求人割合の推移



【調査概要】

DODA 転職支援サービスに登録した約 34 万人 (2013 年度) のデータと、DODA が保有する約 33 万件 (2005 年 1 月～2014 年 3 月) の求人情報を対象に調査。

※「転職成功率」は 2013 年度中に DODA 転職支援サービスに登録し、同年度中に実際に転職した方の割合で算出。

「DODA」について <<http://doda.jp/>>

「DODA」は、専任のキャリアコンサルタントによる転職支援サービス、インターネットサイト上での求人情報サービス、スカウトサービス、「DODA 転職フェア」に代表されるイベントサービスを中心に、転職や中途採用に関わる多様なサービスをワンブランドで展開しています。ブランドスローガン「いい転職が、未来を変える。」のもと、より多くの転職希望者、人材を採用する企業がともに成長し、より良い未来を切り開いていくことを目指し、人と組織の最適なマッチングを目指してまいります。

【サービスラインナップ】

- 転職の総合情報サイト「DODA」 <<http://doda.jp/>>
- IT エンジニア専門の転職サイト「DODA エンジニア IT」 <<http://doda.jp/engineer/>>
- モノづくり系エンジニア専門の転職サイト「DODA エンジニア モノづくり」 <<http://doda.jp/engineer/mono/>>
- メディカル業界専門の転職サイト「DODA メディカル」 <<http://doda.jp/medical/>>
- 営業・販売サービス職専門の転職サイト「DODA セールス」 <<http://doda.jp/sales/>>
- 金融業界専門の転職サイト「DODA ファイナンス」 <<http://doda.jp/finance/>>
- 企画・専門職専門の転職サイト「DODA スペシャリスト」 <<http://doda.jp/specialist/>>
- エグゼクティブ・管理職の転職支援「DODA エグゼクティブ」 <<http://doda.jp/executive/>>
- グローバルに活躍したい方の転職サイト「DODA グローバル」 <<http://doda.jp/global/>>
- 障がい者の求人「DODA チャレンジ」 <<http://doda.jp/challenge/>>